

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ



インドネシア



インド

市場概要・見通し（カナダ、ブラジル、メキシコ）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/20 （7/13との比較）	7/20 （7/13との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.18% （+0.04）	84.75円 （▲0.75%）	+2.3% 2018年1Q	1.50%	製造業売上高や小売売上高、CPI（消費者物価指数）は市場予想を上回る内容。中銀の年内追加利上げ観測が高まる中、国債利回りは上昇。カナダドルは対円で下落。	GDP（国内総生産）や製造業PMI（購買担当者景気指数）、貿易統計などが発表予定。引き続き、世界的な通商問題の動向が注目されるものの、良好な経済指標に支えられ、カナダドルは対円で底堅い推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	9.81% （▲0.21）	29.56円 （+1.29%）	+1.2% 2018年1Q	6.50%	政府は、2018年の経済成長率の見通しを下方修正し、インフレ率見通しを上方修正。また、IPCAインフレ率や経済活動指数が市場予想を下回る中、国債利回りは低下。レアルは対円で上昇。	経常収支や財政収支などが発表予定。大統領選挙に向けて、各候補者からの支持者への政策表明などが旺盛になると見込まれるものの、先行き不透明感が漂う状況であり、債券・為替市場はともに上値の重い展開を予想。
	Ba2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.67% （▲0.08）	5.86円 （▲1.56%）	+1.3% 2018年1Q	7.75%	ロペスオブラドール次期大統領は、トランプ米大統領に書簡を送り、NAFTA（北米自由貿易協定）の交渉の早期妥結を主張。メキシコペソは対円で下落。国債利回りは低下。	小売売上高や貿易収支などが発表予定。引き続き、ロペスオブラドール次期大統領の発言内容や通商問題をめぐり動きには注目が集まる中、債券・為替市場はともにレンジ内での展開を予想。
	A3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
 ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
 ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
 ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
 ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
 ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
 ※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/20 （7/13との比較）	7/20 （7/13との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.62% （▲0.01）	82.63円 （▲0.91%）	+3.1% 2018年1Q	1.50%	景気先行指数は小幅改善し、雇用統計では雇用者数が大きく増加。米中貿易摩擦が中国の経済成長に悪影響を与え、懸念などから、国債利回りは小幅低下。オーストラリアドルは対円で下落。	CPIやPPI（生産者物価指数）などが発表予定。堅調な経済指標と米中貿易摩擦の行方が注目される中、日銀の金融政策姿勢に変化の兆しがあることから、オーストラリアドルは対円でレンジ内での推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.79% （▲0.06）	76.29円 （+0.32%）	+2.7% 2018年1Q	1.75%	CPIは、市場予想比でやや弱めの結果となった一方、クレジットカード支出などは前回よりも強めの内容となり、経済指標は強弱交錯。ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは低下。	貿易収支や消費者信頼感指数などが発表予定。トランプ米大統領の発言などが市場の変動要因となる可能性が高い環境下、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.74% （+0.01）	13.63円 （▲1.57%）	+0.3% 2018年1Q	0.50%	ノルウェーの沖合石油・ガス労働者によるストの拡大などが、原油相場を通じてノルウェークローネの下支え要因。一方、ドル円相場での円高の影響を受け、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは小幅上昇。	鉱工業信頼感指数や失業率などが発表予定。底堅いファンダメンタルズが示されれば、9月に実施されることが想定されている利上げの支援材料となり、ノルウェークローネは対円で底堅い推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/20 （7/13との比較）	7/20 （7/13との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	8.16% （▲0.01）	8.31円 （▲1.81%）	+0.8% 2018年1Q	6.50%	中銀は政策金利の据え置きを決定。足元でCPIの伸び加速を受け、インフレリスクが強まっていることに言及。消費者信頼感が低下したことなどから、国債利回りは小幅低下。ランドは対円で底堅い推移を予想。	
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.80% （+0.33）	0.77円 （▲1.68%）	+5.1% 2018年1Q	5.25%	中銀は政策金利を据え置いたものの、追加利上げに対して前向きな見方を維持。中国人民元安の進行などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、ルピアは対円で下落。国債利回りは上昇。	特段重要な経済指標等の発表はなし。マーケット全体のリスク許容度や、米中貿易摩擦などの動向に影響を受ける可能性もあるものの、ルピアは中銀により支援されることなどから、対円で底堅く推移する見込み。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
インド 	BBB-	7.93% （▲0.02）	1.62円 （▲1.28%）	+7.7% 2018年1Q	6.25%	政府は、GST（物品・サービス税）について50を超える品目の適用税率の引き下げを発表。海外投資家がインド債券の売り越し基調であることが伝わる中、インドルピーは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	特段重要な経済指標等の発表はなし。相対的に高い経済成長性への投資家からの期待が強いものの、通商問題をめぐる動きには注目。インドルピーは対円でレンジ内での推移を想定。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

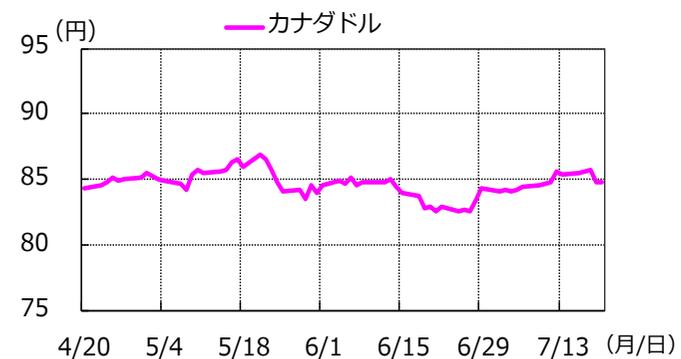
出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

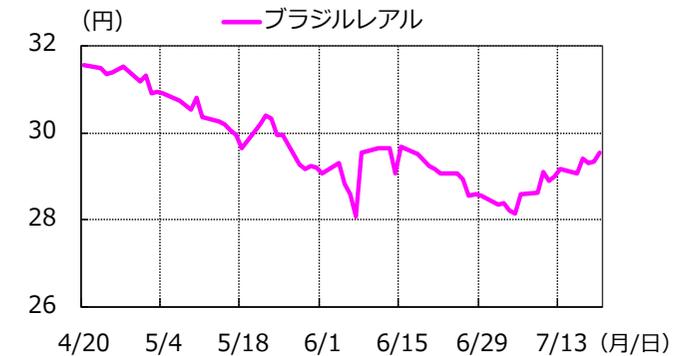
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/4/20～2018/7/20

カナダ



ブラジル



メキシコ

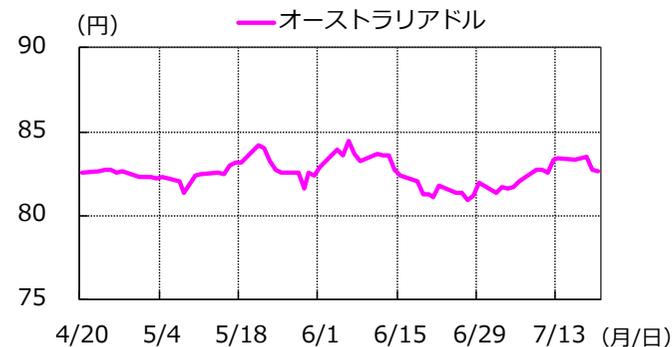


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/4/20～2018/7/20

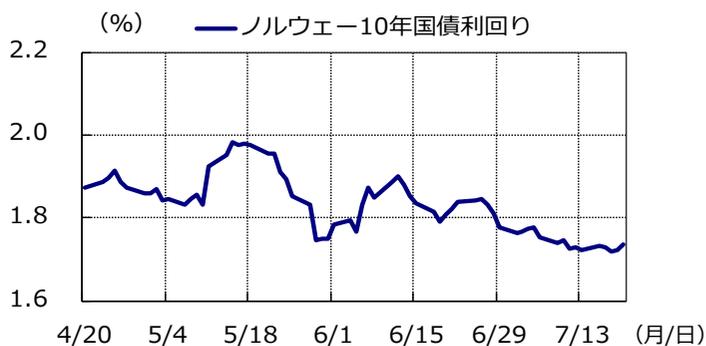
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

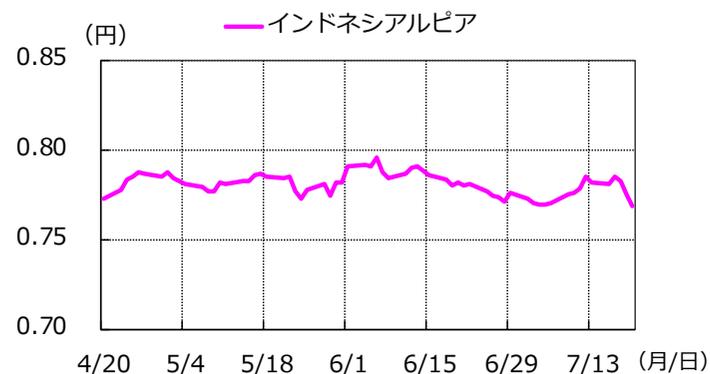
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/4/20～2018/7/20

南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。